



令和2年7月1日  
山鳥坂ダム工事事務所

## 自然由来の重金属等（フッ素・ヒ素）の検出について

1. 本事務所発注の「見の越トンネル工事」の掘削土砂と搬出先の下敷水残土処理場の盛土を調査したところ、一部から基準値を超える重金属等（フッ素・ヒ素）を確認しましたのでお知らせします。  
(分析結果は別紙参照)
2. 上記を踏まえ、6月24日からトンネルの掘削及び土砂搬出等を一時中止しており、下敷水残土処理場では、愛媛県環境部局に相談しながら、ブルーシート被覆による雨水の浸透を抑制するための応急対策を7月1日に完了しています。
3. なお、4月24日及び6月5日に下敷水残土処理場付近で実施した水質調査では、フッ素及びヒ素等は基準値以下であることを確認しています。
4. 今後、愛媛県環境部局の指導を踏まえ、残土処理場の盛土や周辺の水質の調査及び盛土の処理等について適切に対応してまいります。

### 問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局 山鳥坂ダム工事事務所

◎副所長 矢野 慎二 (ヤノ シンジ) (内線：204)

工務課長 新川 和之 (シカワ カズキ) (内線：311)

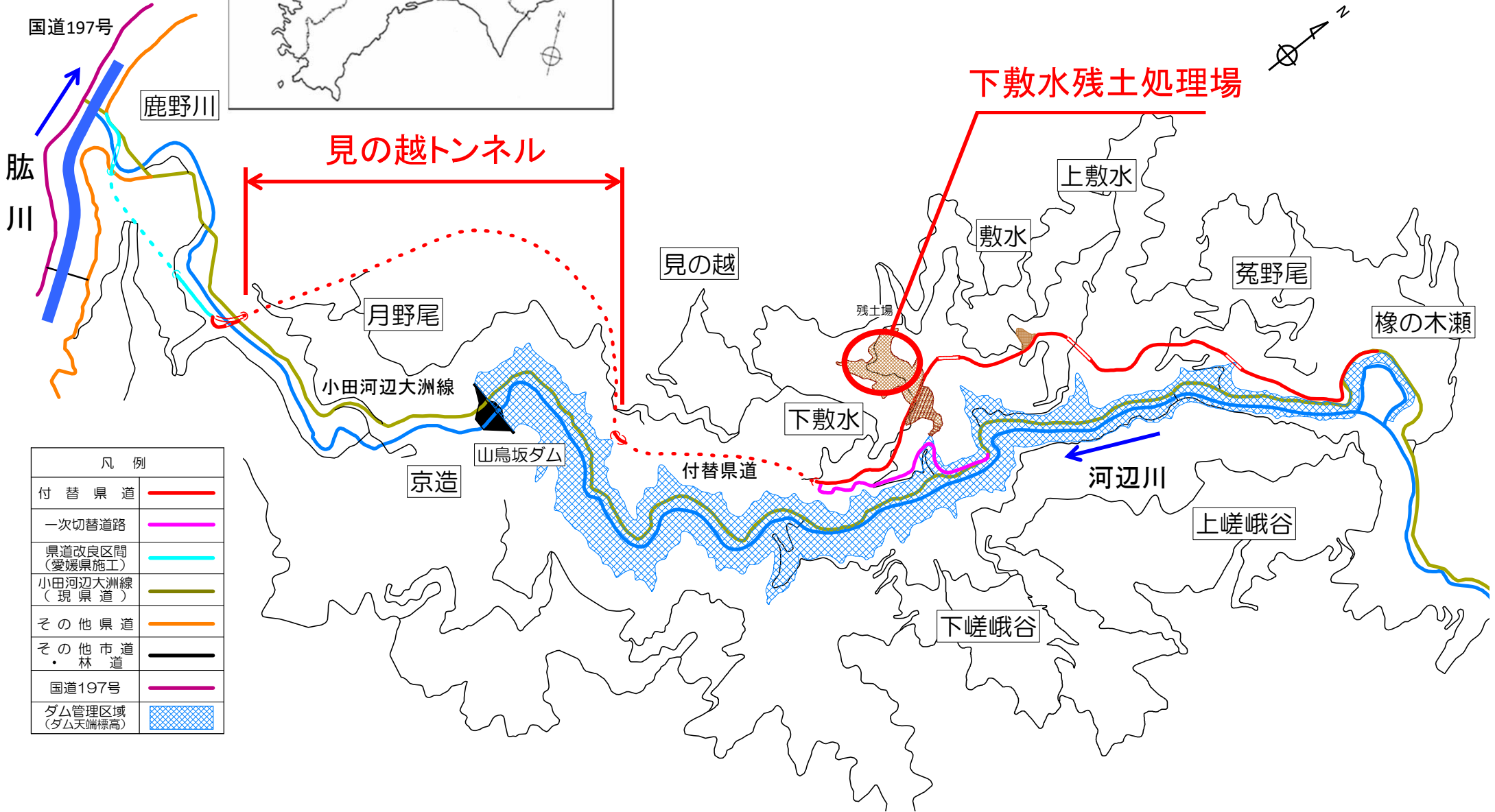
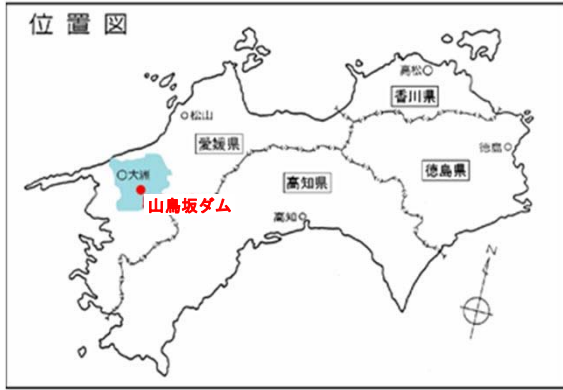
電話 (0893) 34-3000 (代表)

◎：主な問い合わせ先

## <分析結果>

- 見の越トンネル坑内の掘削土砂を仮置きした土砂の分析結果（※1）：  
（4月10日調査開始、4月21日以降順次結果確認）  
フッ素：最大 2.1mg/ℓ（基準値 0.8 mg/ℓ以下）  
※その他の物質は、基準値以下
  
- トンネル掘削土砂を埋め立てた下敷水残土処理場の盛土の分析結果：  
（5月27日調査開始、6月8日以降順次結果確認）  
フッ素：最大 1.3mg/ℓ（基準値 0.8 mg/ℓ以下）（※2）  
ヒ素：最大 0.015mg/ℓ（基準値 0.01mg/ℓ以下）（※3）  
※その他の物質は、基準値以下

- （※1）見の越トンネル坑内の掘削土砂を仮置きした土砂を簡易的な採取方法で採取し、「土壤汚染対策法」に基づく方法で分析した結果
- （※2）トンネル掘削土砂を埋め立てた下敷水残土処理場の盛土を「土壤汚染対策法のガイドライン」に基づく方法で採取し、「土壤汚染対策法」に基づく方法で分析した結果
- （※3）トンネル掘削土砂を埋め立てた下敷水残土処理場の盛土を「土壤汚染対策法のガイドライン」に基づく方法で採取し、「建設工事における自然由来重金属等含有岩石・土壌への対応マニュアル(暫定版)」に基づく方法で試料を細かく粉砕し、「土壤汚染対策法」に基づく方法で分析した結果



凡例	
付替県道	— (Red line)
一次切替道路	— (Magenta line)
県道改良区間 (愛媛県施工)	— (Cyan line)
小田河辺大洲線 (現県道)	— (Green line)
その他県道	— (Orange line)
その他市道 林道	— (Black line)
国道197号	— (Purple line)
ダム管理区域 (ダム天端標高)	■ (Blue cross-hatch pattern)